

ピアッシングについて

ピアッシングとは、体の一部に装飾品などを装着するための孔をあけることをいいます。

耳のピアッシングは一瞬で終わるため麻酔は行いません。へそのピアスは多少時間がかかるため、麻酔をして行います。穴をあけたあとに最初につけるピアスは当クリニックで用意しております。

ピアッシングしてから、ピアスホールが形成されるまで、約6週間かかります。その間、ピアスは外さないようにしてください。1日2回、ピアスの軸をずらしながら水またはお湯で軽く洗ってください。

ピアスホールが完全に落ち着くまで1年くらいかかります。その間はピアスをしない状態が続くとピアスホールがふさがってしまうことがありますので、注意してください。また、ピアッシングに使用したファーストピアスも捨てずに、時々使うようにしてください。

ピアッシングをした場合、次のような合併症を生じることがあります。ご理解いただいた場合は、左の口に☑をしてください。

- 感染症・・・ピアスの孔からばい菌が入って化膿することです。赤く腫れ、膿が出ることがあります。
- アレルギー・・・ピアスの金属が合わず、赤く腫れることがあります。もともと金属アレルギーを持っていなくても、ピアスをしているうちにアレルギーを発症してしまうこともあります。指輪、ネックレスをしたところが赤くかぶれるなどの金属アレルギーがある方の施術はおすすめしません。
- 感染やアレルギーを起こした場合、ピアスを外さなくてはいけないことがあり、その場合はピアスの孔は塞がってしまいます。
- ケロイド・・・ピアス孔の周りが赤く膨らみ、ケロイドを形成することがあります。圧迫、注射、手術による治療が必要になることがあります。怪我をしたところ、ニキビのあとなどが、治ったあともミズ腫れのようになって、ずっと治らないことがある、いわゆるケロイド体質の方や、または、両親、兄弟、親類にケロイド体質の人がいる方は施術をおすすめしません。
- 表皮嚢腫・・・ピアス孔が皮膚の中に潜り込み、袋を形成することがあります。袋ごと切除する手術が必要になることがあります。
- 耳垂裂など・・・耳のピアスの場合、輪っか状のピアスをした際に誤ってピアスを引っ掛けてしまうと、ピアス孔がちぎれ、耳たぶが裂けてしまうことがあります。治療、修正のための手術が必要になることがありますので、ピアスを引っ掛けないように気をつけてください。

上記について説明を受け、十分理解をした上で、ピアッシングの施術を受けることに同意します。

令和 年 月 日

本人 住所

氏名

(本人が18歳以下(高校生も含みます)の場合)保証人 氏名 (続柄)



五泉皮ふ科
Gosen Dermatology Clinic